

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
1	日常からの地域のつながりが災害時の相互支援につながると思う。	総合政策課	課題に対する視点（2）安心・安全の分野における地域防災力の強化に「 <u>地域での人と人とのつながりは、災害時の対応において非常に重要となります。</u> 」を記載する。	10P
2	序論の社会情勢の変化について、ネガティブな話が多数羅列されている。ポジティブな動きもある中、それらを伸ばす姿勢を前面に出すべきである。	総合政策課	社会情勢の変化における本市の状況を再度整理し、 <u>追い風となる側面を踏まえた前向きな文章に修正する。</u>	15P～ 17P
3	地域特性③「充実した医療・介護環境」に病院名が列挙しているが、米子市の医療サービスの特徴を記載してはどうか。	総合政策課	<u>米子市の医療サービスの特徴を整理し記載する。</u>	16P～ 17P
4	伯備及び山陰新幹線整備促進については、その必要性について疑問がある。むしろ在来線の充実を図るべきではないか。	交通政策課	新幹線の整備は、移動時間の大幅な短縮によって、ビジネス・観光の交流を促進し、地域の産業や社会に大きな効果があり、この圏域の発展のために必要なものと考えている。 また、在来線は、地域の移動手段として必要不可欠なものであり、生活交通の維持・確保策を関係機関と一緒に考えて取り組んでいきたい。	26P
5	1-1広域的な交通基盤の整備の【主な取組】①において、「米子・境港を結ぶ高規格道路の事業化」とある。今年はいが、5年間の計画となると、もっと先をにらんだ記載が求められる。アクセス道路及びIC周辺の土地利用を考えていくことが次の5年間のテーマであり、急速に事業化の動きが出ている中、沿線のまちづくり的視点も加えるべきである。	総合政策課	主な取組について、「米子・境港を結ぶ高規格道路の事業化」から「 <u>米子・境港間を結ぶ高規格道路の早期事業化及び連動したまちづくり</u> 」に修正する方向で調整する。	26P

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
6	全線キャッシュレス化は大切だが、高齢者に配慮した対策（アナログで利用しやすいもの）も案として考えて欲しい。 ※カードを持つ、アプリを入れる等の動作が課題ではないか	交通政策課 情報政策課	ICOCAを導入しても現金払い、回数券、定期券はそのまま残るので、既存の利用者の利便性を落とすものではない。全世代に利用いただけるよう、利用促進策を引き続き検討していく。	27P
7	市内のバス停（駅以外）が存在感がなく目立たない、工夫して活用しやすい環境づくりが必要ではないか。	交通政策課	1-2の確立の主な取組、「利便性向上に向けた改善」において、バス停の整備といったハード面についても検討していく。	27P
8	各地域ごとの公園機能を充実させ利用促進して欲しい。また、弓ヶ浜公園の利用度は高く、もっとイベントにも利用して欲しい。	建設企画課 都市整備課	公園整備の際には地域の特徴を考慮しながら進めていきたい。また、弓ヶ浜公園を含む都市公園では、イベント利用等の規制緩和を行ったところであり、引き続き利用促進に取り組んでいく。	28P
9	駅周辺のにぎわい創出と同じように、歩いて楽しいまちづくりと連動して、トイレや休憩できるベンチなどの環境整備の計画も作って欲しい。	都市創造課 都市整備課	1-5の主な取組、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成に向けた環境整備の中で、ベンチなどの休憩施設の設置整備について検討していく。	30P
10	地域の居場所づくりをどのように積み上げていくのか実践例など交流の場作りが必要。	地域振興課	参加しやすい防災訓練や子ども関連の事業などを行うことで、普段公民館を利用しない方でも地域活動に参加でき、地域の中で多年代の方が集まる居場所となるよう取り組んでいく。	32P

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
11	2-2公民館を拠点とした地域のまちづくりの推進②に「義務教育学校と連動した弓浜地区のまちづくりの推進」とあるが、他の地区についても記載があってよいのではないか。それぞれの地区が抱える問題もある。	地域振興課 まちづくり企画課	2-2公民館を拠点とした地域のまちづくりの推進における主な取組を以下のとおり整理する。 【現状と課題】に、「 <u>それぞれの実情に応じた地域のまちづくりを推進していく必要があります。</u> 」を記載。また、主な取組についても、32Pのとおりに整理する。	32P
12	2-4に障がい者・高齢者等のごみ出し支援と記載があるが、生活支援はないのか。表記として加えることはできないか。	長寿社会課 障がい者支援課	2-4の主な取組「障がい者・高齢者等のごみ出し支援」を、「 <u>日常生活における支援体制の充実（障がい者・高齢者等のごみ出し支援など）</u> 」に修正する。	34P
13	「2-11 デジタル社会の実現に向けた技術の活用」について、分野横断の課題であるDX推進（少子化への対応・人材不足への対応）との区別化のため、市民が主役・共生のまちづくりの観点からDX活用により何をを目指すのかが分かりやすい取組の名称に変えてみてはどうか。例）DX活用による○○○○	情報政策課	「2-11 デジタル社会の実現に向けた技術の活用」の位置づけについては、自治体（市役所）及び地域の両面でDXを推進することで、まちづくりビジョンの各分野のDX推進を後押しし、誰もがデジタルの恩恵を受けられる社会の実現を図るものとして整理し、 <u>2-11の標題を「誰もがデジタルの恩恵を受けられる社会の実現」に変更する方向で再調整する。</u>	41P
14	脱炭素社会実現のため、太陽光パネルの個人宅への設置補助や公共施設への設置促進をお願いしたい。	環境政策課	個人宅については、平成21年度から太陽光パネルの設置補助を実施していたが、当初高額であった設置費用が技術革新により半分以上になり、設置しやすい環境が整ったことから、当初の目的を果たしたものと判断し令和元年度に廃止した。今後については、社会情勢や国の動向を注視しながら、補助制度に関らず、必要な施策を実施していく。 なお、公共施設については、国の交付金を活用した「脱炭素先行地域づくり事業」において、令和4～8年度までを集中取組期間として計画的に太陽光パネルを設置しているところである。	42P

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
15	3-4学校教育の充実の基本目標③に「健康でたくましく」という表現がなされているが、多様性を認め合う共生社会において望ましくない表現である。子どもたちの最大限の成長が「健やかでたくましい」になるのか。治らない病気を抱えながら自分らしく生きる子どももいる。時代錯誤の表現を続けているようでは、他の地域からも遅れをとると考える。	こども政策課	今年度策定予定の米子市こども計画（仮称）の基本理念と表現の整合を図り、 「健やかでたくましく」から「心豊かでのびのびと」に変更する。	5P 23P
16	「3-5学校施設の整備・充実」において、校舎の断熱改修についても検討する必要がある。市内小中学校にエアコンは設置されたが断熱が弱いようではエネルギーを無駄に使い続けることになる。	こども施設課	校舎の断熱改修については、課題のひとつとして認識しており、「3-5学校施設の整備・充実」の現状と課題にその旨記載する。 また、これらを踏まえ、引き続き学校施設の機能向上を図っていく。 ※【現状と課題】➡学校施設における環境への負荷軽減～学校施設の老朽化対策とそれに合わせた施設の機能向上は重要な課題となっています。	47P
17	小中学校にて、米子の文化・歴史などをテーマとしてふるさと教育等の取組を推進して欲しい。	総合政策課 学校教育課	小中学校では、道徳の学習時間を中心に「ふるさと米子の先人に学ぶ郷土資料集」を活用しながら、米子の文化や歴史について学習している。また、総合的な学習時間にて、淀江傘や尾高城、法勝寺電車などの文化遺産についての調べ学習を行っている学校もある。 引き続き、ふるさと教育の更なる推進に向けて、米子の文化や歴史に関する地域教材をより充実させるよう努めていく。	49P
18	4-8次世代につなぐ農業の推進について、耕作放棄地などを市民農園として活用、農業生産者と高校生世代（若者）との交流を通じた農業への関心・魅力を高める取組、学校教育と連携した農業の魅力発信などができないか。	農林課 学校教育課 総合政策課	耕作放棄地を市民農園として活用の提案については、現在、市内2ヶ所に開設しており、引き続き取り組んでいく。 また、農業への関心・魅力づくりの醸成については、これまでも各地区の学校等において社会科や総合的な学習の時間等の学習の一環として、生産者の農地等で植え付けから収穫までの農業体験を通じて地域と連携しており、今後も魅力発信していく。	49P 57P

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
19	子どもたちが食への関心をもてるよう、献立作りなどへの参加や生きることと食への考え方が身につく教育の推進を望む。	学校給食課	児童生徒から募集した地元食材を使用した献立の実施、料理教室の開催などの取組や、給食時間や各教科における食に関する指導により、食育の推進に努めているところであり、引き続き、学校、家庭、地域と連携した食育の推進を図っていく。	49P
20	4-1「関係機関と連携した若者の起業～」について、「若者」に限定する必要がないように思う。	商工課 総合政策課	4-1「関係機関と連携した若者の起業・創業に係る支援」から「 企業・創業、新事業展開への支援 」に修正する。	50P
21	4-6地域資源を活用した観光施策の推進の【主な取組】②において、「ソウル・台湾等東アジアのゲートウェイ機能・・・」とあるが、香港便が就航している現在、これをあえて「等」に入れる意図が不明。台湾より先に香港便を加えるべきである。	総合政策課 観光課	主な取組について、「ソウル・台湾等東アジアのゲートウェイ機能を活かした観光誘客」から「 韓国・香港・台湾等東アジアのゲートウェイ機能を活かした誘客促進 」に修正する。	55P
22	弓浜地区の遊休農地対策は以前から課題となっている。富益地区では大規模な圃場整備が進んでおり、白ねぎを中心とした栽培がされ農地として蘇っている。しかしながら耕作放棄地は年々増加しており、地球温暖化等により、その傾向は今後も拡大すると思われるが、対策を講じる必要があるのではないか。	農林課	耕作放棄地対策については、本市の重要課題として取組を行っているが、解消に至っていないのが現状である。 既存の耕作放棄地の減少と新たな発生を防止するため、新たな担い手の育成や担い手への農地集積や規模拡大を図るとともに、引き続き、ほ場整備の推進、耕作放棄地再生利用対策事業、耕作放棄地活用事業及び早生ヤナギの試験植栽等の取組を推進していく。	57P

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
23	レベルの高い文化芸術を鑑賞できる機会を増やし、将来のひとづくり（文化芸術に係る人材の育成等）へ繋げる取組を推進して欲しい。また、併せて文化施設の改修についても必要と考える。	文化振興課	5-2芸術文化活動の推進における、主な取組①に「 <u>世代を超えた多くの市民が、優れた文化芸術を鑑賞する機会を充実させることによる、文化芸術を担う人材の育成</u> 」及び②に「 <u>将来のまちづくりを見据えた文化施設の改修</u> 」等を加える。	63P
24	5-3淀江エリアをはじめとした歴史・地域資源の活用の『主な取組』、②歴史など特色のある地域資源の活用や伝統文化の保存・継承において、地域との連携も必要であると考え、文言の整理ができないか。	淀江振興課	主な取組②を「歴史など特色のある地域資源の活用や伝統文化の保存・継承」から「 <u>歴史など特色のある地域資源の地域と連携した活用や伝統文化の保存・継承</u> 」に修正する。	64P
25	5-3淀江エリアをはじめとした歴史・地域資源の活用【主な取組】②地域資源を活用したまちづくりの推進と記載があるが、表現が曖昧でイメージが全くできない。イメージできる程度の言葉を補って欲しい。	淀江振興課 文化振興課	5-3の主な取組②地域資源を活用したまちづくりの推進の具体的なイメージができるよう、各取組の表現を整理する。 【主な取組：抜粋】 ・ <u>歴史など特色ある地域資源の地域と連携した活用や伝統文化の保存・継承</u> ・ <u>尾高城跡の利活用の推進及び整備内容の検討</u>	64P
26	他市に比べてフレイル対策への力の入れようが凄い。市外にもこの取組を広めることにより「米子方式」のフレイル対策と謳えるようになれば良いと感じる。	フレイル対策推進課	引き続き各種取組の推進を図り、最終的には、フレイル予防がごく当たり前（自然）な取組となるよう取り組んでいく。	68P

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
27	7-6地域防災力の充実強化の【計画目標】及び【主な取組】に記載のある消防団活動の充実については、団員の処遇改善が必要である。現団員が気持ちよく活動でき、魅力的な組織でなければ団員も増えない。増えない中で活動だけ充実させても意味がない。処遇改善、活動のしやすさの改善がまず取り組むべきことである。そうすれば自然と消防団活動の充実に繋がると考える。	防災安全課	消防団活動については、各取組における支援や各種広報による普及啓発活動に取り組んでいるところである。現役の消防団員等からの意見についてもしっかりと耳を傾け、引き続き活動しやすい消防団をめざして取り組んでいく。	75P
28	消防団参加へのアプローチ方法等についてを主な取組に記載できないか。※募集のやり方、各企業、団体などにも周知を広める等	防災安全課	ホームページや市報を含めた広報誌への掲載、本庁舎を含めた関係箇所でのポスター掲示、各種イベント時での団員募集チラシの配布や学生消防団が在籍する米子工業高等専門学校において、全校生徒への募集チラシの配布を行っている。今後も、消防団等に関する周知を行い、継続して団員募集を図っていく。	75P
29	数値目標について、「皆生温泉年間宿泊数」や「米子空港発着の国内線の年間利用者数」の目標値はもっと高い数値を設定すべきである。米子鬼太郎空港はANA大型化の要望もしている、また、JCAS Airways（ジェイキャス エアウェイズ）の新規路線就航の計画もメディア等で報道されているところであり、こういった点が全く反映されていない。皆生温泉についても現在の人手不足を前提に積み上げていないか。人手不足の解消にも努力しつつ、フル稼働した場合の視点で、数値目標を設定すべきである。	交通政策課 観光課	<u>数値目標について、諸条件等を踏まえた再検討を行い、可能な限り高い数値目標を定める。なお、新規路線就航予定等については、確定次第、改めて数値目標の修正を再検討する。（R7年度以降）</u>	77P～ 79P

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
30	数値目標の設定数を明記してもよいと思う。	総合政策課	<u>数値目標の設定数（累計）を記載する。</u>	79P
31	「地域幸福度」「市民満足度」の評価指標は多岐にわたるため、「市民が主役・共生のまちづくり」に含めることは違和感があり、まちづくりの基本目標とは分けて考えてもよい。また、まちづくりの基本目標（アウトプット）を達成することで市民の「地域幸福度」「市民満足度」が向上する（アウトカム）という考えでいくと、アウトカムには必ずしも数値目標は必要ではなく（目標値の根拠づけが難しい）取組を評価する際の指標として設定することもできる。	総合政策課	<u>「地域幸福度」「市民満足度」の指標については、7つの基本目標のいずれにも属さない成果（アウトカム）として考えを整理し、全体の取組を評価・検証する際の指標として定める。</u> 目標値の設定については、可能な限り設定したいと考えており、現時点では、5年後の米子市の想定値（デジタル庁Well-Being）を参考とし、目標値を定める。	79P
32	序論に「価値観の変容」という表現があるが、「価値観の多様化」が言葉として適切ではないか。また、別のページでは「価値観の変化」と記載がある。全体的に見直しをすること。	総合政策課	<u>序論をはじめ全体の文書を見直し、適切な表現（言葉）に修正する。</u>	全体
33	分野横断として3点を設定するなど全体像が分かりやすくなった。また、社会情勢について影響がある項目を列挙しており、まちづくりの課題との関連がわかりやすく整理されている。	総合政策課	案作成においても「社会情勢の変化と課題の関連性」など、分かりやすい整理となるように努める。	—

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
34	図書館裏の公園のトイレや山陰歴史観前のトイレなどの整備についても、まちづくりを進める上で今後必要な取組と考える。	都市整備課 総務管財課	老朽化している公共施設のトイレなどの整備は必要であると考えており、各施設の状態や利用状況を踏まえながら適切に対応していく。	—
35	まちづくりを進める上で、例えば、土日は公の施設（市役所本庁舎など）の駐車場を無料開放する取組（市民サービス）も必要ではないか。※松江市では実績あり	総務管財課	土日に駐車場を無料開放することで周辺の民営駐車場経営を圧迫することにつながる可能性があり、また、真に施設に用務のある方の駐車場が不足するおそれがあることから慎重に判断する必要がある。	—
36	「車中心」から「公共交通と歩行者中心」という表現は少し極端に感じる、うまくバランスをとりながら公共交通と歩く生活を取り入れるのが現実的だと感じる。	都市創造課	「車中心」から「公共交通と歩行者中心」という表現については、地方都市においては車が移動手段の中心であることを認めつつ、車への過度な依存から脱却し、車がなくてもまちなかや郊外で誰もが生活しやすいまちづくりを進めるものである。	—
37	それぞれの取組において、一緒に行うことで相乗効果を生み出す取組もある。例えば、文化芸術×フレイル対策など、それぞれの課が個別で取組を進めて行く中で、もう少し連携が図れないものなのか。現状、市が一体感をもって何かをやっているという印象を受けない。まちづくりビジョンにおいてはもう少し一体的に取り組んでいきたい。	総合政策課	部局を横断した取組についてはプロジェクトチームを立ち上げてなどの対応をしている。例えば、歩いて楽しいまちづくり、空地空き家対策、米子アリーナの整備などが挙げられ、引き続き部局を横断する取組については、更なる連携の強化を図っていく。	—

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
38	学校ではなかなか学べない事かもしれないが、「お金・性教育・命」を学ぶ場を市をあげて考えて欲しい。お金の仕組みを知ることと人生が豊かになり、異性に対する理解「分からないことを体感すること」で他社に対して優しさや敬意をもち、命そのものを大切にする心を養うことができます。これらをこどもの頃に行うことにより、時間がかかるかもしれないがWell-Beingが高い地域になるのではないかな。	総合政策課 学校教育課	お金の仕組みについては、主に中学校社会科の公民分野にて、経済の仕組みを学習する際に取り扱っている。性教育については学習指導要領に則り、小学校では体育の保健領域で、中学校では保健体育の保健分野にて学習している。命の大切さについては、小中学校とも主に特別の教科道徳の時間などで学習している。中学校では、助産師などの外部人材とも連携し、性と命の教育を関連付けた学習を行っている学校もある。引き続き、各領域、各分野にて取り組んでいく。また、市長部局と教育委員会でこどもたちの教育について意見交換を図りながら、学校教育が充実なものとなるよう努める。	—
39	白砂青松の弓ヶ浜サイクリングロード周辺の松枯れ対策やごみ対策などもボランティア募集と併せてお願いしたい。	観光課 スポーツ振興課	現在、鳥取県サイクリング協会が主体となり、弓ヶ浜サイクリングロード及び周辺の清掃活動を行っており、この取組は、鳥取県や米子市の職員もボランティアとして参加している。 また、鳥取県が住民参画型環境美化活動推進事業による住民による美化活動の取組を推進しており、本市も広報（ボランティア募集）により連携強化を図り、多くの方がボランティア活動に参加いただけるよう努めていく。	—

まちづくりビジョン概要（案）に対する意見及び対応方針等について

	意見集約における提案・意見（主な取組・数値目標等）	担当課	今後の方針・取組等について（R7～R11）	記載頁
40	学級教育・保育に携わる方々の意見を聞き、働きやすい職場づくり（人材確保）を進めて欲しい。	学校教育課 こども政策課	これまでに校務支援システムや時間外の音声対応電話を導入するなど、ハード面の整備を行うことで教職員の事務の効率化や放課後の時間確保に努めてきた。また、毎年、ストレスチェックの実施や、希望者が産業医による面談を受けることができる体制を整えることで、教職員のメンタルヘルスケアにも取り組んできた。 引き続き、教職員の働き方改革を推進しながら、働きやすい職場づくりに努めていく。保育職場においては、保育士不足が問題となっている。本市では、現場の声を聞きながら、保育士の業務負担軽減につながるＩＣＴの導入について、民間の保育施設等には補助金の交付を行い、公立保育所は保育支援システムの導入を行ってきた。また、保育リーダーが市内保育施設等を計画的に訪問し、保育に係る助言を行っており、様々な機会を通じて、引き続き保育現場の状況を把握し、働きやすい職場づくりに努める。	—
41	子どもたちが遊べる場づくりを推進して欲しい。例えば、地域の公園をもっと活用するなど。また、高齢者と一緒に活動できる場があると良いと思う。	こども政策課	こどもの遊び場については、屋内の遊び場として子育て支援センターや児童文化センター、屋外の遊び場としては湊山公園や弓ヶ浜公園、市が管理している児童遊園地、自治会などが管理する地域の子どもの遊び場などがあり、引き続きこども達が安全に遊べるように管理していく。 また、地域における既存施設等については、こどもだけでなく高齢者も含めた地域の交流の場となるよう、地域の方々と協力を得ながら、利用促進に係るPRや多世代で楽しめる仕組みづくりを図っていく。	—